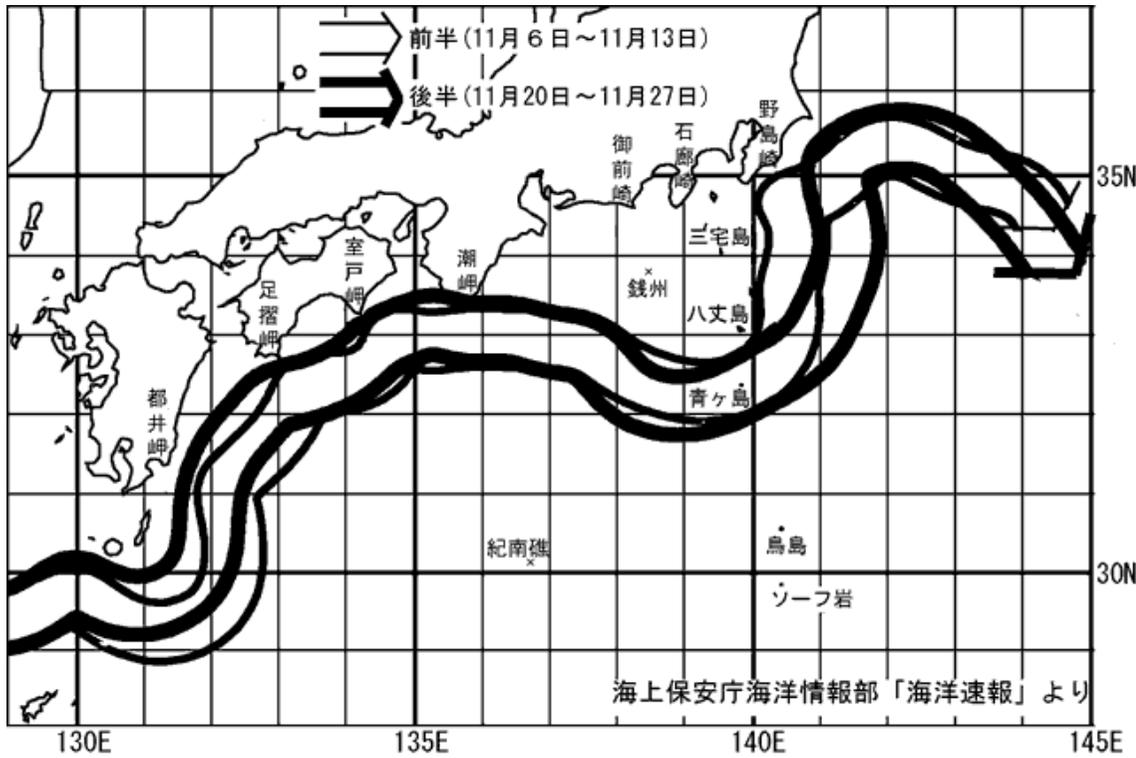


# 漁海況月報

平成19年11月1日

No. 11 ~11月30日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産技術研究所伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



## 【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸で離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から東南東に流れた。その後、石廊崎沖 32° 20' N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 140° 30' E 付近を北上し、野島崎で接岸して東へ流去した。

月後半の黒潮は、九州東岸でやや離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から東南東に流れた。その後、石廊崎沖 32° 10' N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 141° E 付近を北上した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 17~21℃ 台、駿河湾東部では 18~23℃、駿河湾西部では 16~20℃ 台で経過した。

月前半には、黒潮北上部からの 22~23℃ 台の暖水が駿河湾、相模湾にも波及したが、月後半には黒潮北上部の東進に伴って弱勢となった。

このため、中旬の下田、沼津、焼津では高めの水温となったが、月を通じてみると、各地とも平年並みからやや高めの水温で経過した。

## 【竿釣近海カツオ】

11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は19トンで、前年同期の28%であった。魚価は927円/kgで、前年同期の1.58倍であった。

静岡県船は新島から大室出し周辺海域において鳥付群により大・中・小・特大カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
19年11月上旬	10	10	1.0	975
中旬	9	7	1.2	874
下旬	0	0	-	-
19年11月計	19	7	1.1	927
18年11月計	5	8	0.7	587
17年11月計	23	11	2.1	219

## 【定置網】

平成19年11月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は259トンで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量37.0トンは前年11.2トン(7漁場)の330%、平年値(昭和57~平成18年)32.9トンの112%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類47.4トン(A:前年同月比414%、B:平年同月比105%)②サンマ40.6トン(A:217%、B:149%)③マルソウダ37.5トン(A:734%、B:114%)④サバッコ30.2トン(A:前年は0、B:17016%)⑤ヤマトカマス23.5トン(A:3654%、B:938%)の順であった。

サバ類及びサバッコはゴマサバ中心で、サバ類は川奈、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは28cmと32cmにみられた。サンマは川奈、北川を中心に入網し、肉体長のモードは31cmであった。マルソウダは北川、谷津、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは27cmにみられた。サバッコは川奈、伊豆山、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは測定できた限りではサバ類と同様28cmであっ

定地水温の旬平均値(℃) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	19.7	20.3	20.3	21.6	20.4	20.1	18.7
	-0.3	-0.4	0.1	0.6	0.1	0.3	-0.4
中旬	19.5	20.4	21.0	21.3	21.1	20.4	17.6
	0.3	0.6	1.8	1.0	1.6	1.5	-0.5
下旬	18.5	19.3	19.1	19.1	19.4	19.8	16.7
	-0.7	-0.5	-0.2	-1.0	-0.1	0.9	-1.4
月	19.2	20.0	20.0	20.7	20.3	20.1	17.7
	0.1	0.2	0.8	0.6	0.8	1.2	-0.3

た。ヤマトカマスは昭和57年以降で最も多く水揚げされ、古網、北川、川奈、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmであった。

また、マアジは15.8トンと伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは18cmで、ワカシはイナダサイズを多く含むと考えられるものの、6.0トンと昭和57年以降で2番目に多く水揚げされ、尾叉長のモードは37cmであった。

漁場別水揚量は、川奈71トン（サンマ、サバ類、サバッコ中心）、古網47トン（ヤマトカマス、ウルメイワシ、ワカシ中心）、北川45トン（サバ類、サンマ、マルソウダ中心）の順であった。

### 【サバたもすくい棒受網】

小川港には棒受網によって前月（633トン）をやや上回るゴマサバ660トンが水揚げされた。漁場は三本、三宅周辺海域に形成された。水揚げされたゴマサバは、上・中旬には尾叉長26cmにモードをもつ30cm未満の大きさのものを主体に、30cm以上の大きさのものが混じっていた。下旬には大型魚の割合が増加し、26cm、31cmにモードをもつ2峰型の組成となった。ゴマサバの1kg当たりの平均単価は80円で、前年同月（49円/kg）を上回った。

#### 小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成19年 上旬	220	3	6	36.7	三本、三宅
11月 中旬	316	4	9	35.1	三本、三宅
下旬	124	3	7	17.7	三本
計	660	10	22	30.0	-----
平成18年11月	491	8	18	27.3	三本、三宅
平成17年11月	750	10	20	37.5	三宅

### 【サクラエビ船曳網】

平成19年の秋漁は、11月4日が初漁となった。11月の水揚量は8日で265トンとなり、前年を上回った。漁場は主に大井川～榛原沖に形成された。

また、漁獲されたサクラエビは、体長33mmにモードを持つ当歳エビと41～42mmにモードを持つ1歳エビで構成され、当歳エビが主体であった。

#### サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成19年 上旬	52	3	平均 288	大井川～榛原沖
11月 中旬	150	3	平均 831	大井川～榛原沖
下旬	63	2	平均 526	大井川～榛原沖
平成19年11月 計	265	8	平均 551	—
平成18年11月 計	172	5	平均 575	三保沖
平成17年11月 計	276	9	平均 512	三保～焼津沖

### 【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では119kg、遠州灘では121kg、主要6港平均では120kgで、

前年同期(152kg)の79%、平年同期(過去5か年平均:149kg)の81%と、前年及び平年を下回った。総水揚量は153.0トンで前年同期(263.0トン)の58%、平年同期(249.2トン)の61%であった。

平均単価は988円/kgで平年同期(1,031円/kg)を下回った。

#### シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	8.6	11	91	94	828
舞 阪	46.5	11	370	126	912
福 田	30.1	9	221	136	929
御前崎	13.1	10	130	100	1,007
吉 田	29.1	11	261	111	922
静 岡	25.7	10	200	128	1,313
平成19年11月計	153.0	62	1,273	120	988
平成18年11月計	263.0	80	1,726	152	893
平成17年11月計	63.9	55	910	70	1,026

### 【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げが0.2トンと平年同期(66.5トン)を大きく下回った。沼津港ではマイワシが5.2トンと平年同期(62.1トン)を大きく下回り、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期1.0トン)。静浦港ではマイワシ、カタクチイワシともに水揚げはなかった(平年同期、マイワシ0.3トン、カタクイワシ0トン)。 注) 平年同期: 過去5か年(2002～2006年)平均

### 【調査船の動向】

#### 富 士 丸

11月3日	～	11月3日	一般公開(小川港、サバ祭り)	(1日間)
11月5日	～		第4次南方カツオ航海調査	(調査航海中)

#### 駿 河 丸

11月2日	～	11月2日	マリンロボ調査(駿河湾)	(1日間)
11月3日	～	11月3日	一般公開(小川港、サバ祭り)	(1日間)
11月5日	～	11月6日	地先定線観測(駿河湾、遠州灘)	(2日間)
11月8日	～	11月9日	地先定線観測(遠州灘)	(2日間)
11月13日	～	11月14日	マリンロボ調査(遠州灘)	(2日間)
11月15日	～	11月15日	シラス調査(駿河湾)	(1日間)
11月20日	～	11月21日	サバ調査(三宅島周辺)	(2日間)
11月27日	～	11月27日	深層水調査(駿河湾)	(1日間)
11月29日	～	11月30日	マリンロボ調査(駿河湾)	(2日間)